

「第3回全国スポーツクラブ会議 in 射水」開催報告

「第3回全国スポーツクラブ会議 in 射水」が5月23日・24日の2日間にわたり、富山県射水市において開催されました。

定員の300名を大幅に超える454名ものスポーツクラブ関係者が全国42都道府県より集い、活発な意見交換、交流が行われました。

「総合型クラブの第2ステージ ネットワークづくり」をテーマとした今回は、シンポジウムをはじめとした多くのプログラムが生まれ、参加者にとっては有意義な時間となりました。



※開会時にはいみずムズムズ体操を披露。



※42都道府県から454名の方が参加されました。

基調講演は、福岡県新社会推進部県民文化スポーツ課の田中氏を招き、総合型地域スポーツクラブと福岡の伝統行事である「博多祇園山笠」の取り組みの共通点についてお話いただきました。総合型地域スポーツクラブ育成担当時代に博多祇園山笠を通して生まれる多世代交流等が総合型クラブの概念と通じていることに気づき、総合型に対する理解が得られたこと、「博多祇園山笠」に対しての強い思い、その具体的な内容について熱く語られました。



※田中氏の「博多祇園山笠」の熱いお話。

今回のテーマであるクラブのネットワークを実際に構築し活動されているクラブの方から、連携することで行っている事業、活動の幅等について、県外のクラブの方からも発表がありました。クラブ間で連携することで、相互の悩み等を補填できること、従来の単一のクラブでの活動枠を超えた活動が行えることが紹介され、今後のクラブ間のネットワーク構築における可能性を感じ取ることが出来る内容でした。



※熱い意見交換がなされたワークショップ

4つのテーマごとに分かれてのワークショップでは、参加者一人ひとりが様々な夢や課題を持ち、クラブに関わっていることが感じ取れました。決められた100分間が短く感じられるほど、熱い意見交換がなされ、時間が過ぎても話足りないといった雰囲気はそこにはありませんでした。

その雰囲気はその後の情報交換会でも続きました。参加クラブが持ち寄った特産物等、また様々なアトラクションも用意され、参加者は多くの方との交流を楽しみました。

2日目は移動分科会として、実際にクラブの活動場所を3コースに分かれ、視察しました。実際にクラブがどのような場所で、どのような活動をしているのか、視察することで参加者は具体的なイメージが沸いたことと思います。

閉会式では、次回の開催地が宮崎県に決定したことが報告され、「全国スポーツクラブ会議旗」が宮崎県佐土原スポーツクラブへ引き継がれました。参加者は閉会を惜しみながらも、宮崎県で再開することを約束しました。射水での出会いがそれぞれのクラブで活かされ、ひと回り成長して再会されることを願っています。



※スポーツクラブ旗が宮崎県へ渡されました。